

塩釜商工会議所（宮城県）が設けたみなと塩竈海保カレープロジェクト委員会は、3月24日、海鮮せんべい塩竈で「みなと塩竈海保カレーまつり」を開催した。塩釜市内の3店舗が出店し、およそ1500人が来場した。オープン前から店舗前に行列ができたため、急ぎよ開始時間が前倒しとなるなど、来場者の期待の高さがうかがわれた。

塩釜 海保カレーまつり大盛況 伝統のレシピを再現



みなと塩竈海保カレーを提供する店舗と来場者の列



フルーツキーマカレー「くりこま」（手前）とビーフカレー「ざおう」（奥）



海上保安部の制服を着て、「うみまる」と写真撮影をする子供

り、パイやクッキーなりこま」と呼ばれている。子どもコラボレーションしている。

「みなと塩竈海保カレー」は3種類あり、それぞれ巡視船の名前が付いている。パイシーで本格的なキノコ入りのビーフカレーは「ざおう」、タラまのすり身が入った和風カレーは「まつしま」、バナナやキウイ、パイナップルが溶け込んだフルーツキーマカレーは「くりこま」の期待の高さがうかがわれた。

「みなと塩竈海保カレー」は、巡視船パネルの前で記念撮影ができるコーナー、3D海底地形「うみまる」も登場し、子供や海保ファンなどの声がかれた。

「みなと塩竈海保カレー」は、巡視船パネルの前で記念撮影ができるコーナー、3D海底地形「うみまる」も登場し、子供や海保ファンなどの声がかれた。

「みなと塩竈海保カレー」は、巡視船パネルの前で記念撮影ができるコーナー、3D海底地形「うみまる」も登場し、子供や海保ファンなどの声がかれた。